



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	53,085	0.2	723	—	730	—	558	—
2020年3月期第2四半期	52,991	△0.9	△49	—	△113	—	△157	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 778百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △153百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.27	—
2020年3月期第2四半期	△6.55	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	74,564	48,155	64.6	2,004.43
2020年3月期	78,050	47,664	61.1	1,984.02

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 48,155百万円 2020年3月期 47,664百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2021年3月期	—	11.50	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,600	0.9	3,600	23.3	3,600	24.2	2,400	27.9	99.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	27,700,000株	2020年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,675,613株	2020年3月期	3,675,613株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	24,024,387株	2020年3月期2Q	24,024,387株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的に続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会・経済活動が停滞したことから、引き続き厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後の政府の各種施策や、海外経済の持ち直しの動きにより緩やかな回復の兆しがみられるものの、感染症拡大第2波等の懸念から依然として先行き不透明な状況が続いています。

菓子・飲料・食品業界は堅調な家庭内需要が続いている一方で、豪雨による災害や感染症拡大の収束が見通せない中、消費者の生活防衛意識の高まりから節約志向が一層強まりました。

このような状況下で、当社グループは一貫して食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、在宅時間の増加や働き方改革、新しい生活様式への対応といった社会の変化、健康志向の高まりや外出自粛等による消費者の購買行動の多様化など、変化し続ける顧客ニーズへの対応として、求められる価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組みました。加えて、商品ブランドの強化と付加価値を高めた魅力のある商品開発に取り組むとともに、感染防止対策の徹底を図りながら可能な範囲で最大限の店頭フォロー活動を続け、企画提案型の営業活動を通してお客様の満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、外出・イベント自粛等が継続した影響から、一部商品群に伸び悩みがみられたものの、ビスケット品目を中心に大袋商品やロングセラー商品が引き続き順調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。

利益面では、生産性の向上、継続したコスト削減に加え、原料相場が安定的に推移した結果、営業利益、経常利益は前年同期を上回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことにより前年同期を大幅に上回りました。

#### 営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、50,875百万円（対前年同期比101.1%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、「チョコあ〜んぱん」シリーズに、カスタード風味の「クリームあ〜んぱん」を発売するとともに、当社オリジナルの三角形ケーキ「シルベース」にミルクショコラを発売し、品揃えの充実を図りました。また、いも・栗フェアやハロウィン商品の展開など、売場を彩る商品展開を行いました。さらには、「大人プチ」シリーズに、新たにミルクチョコケーキとバスク風チーズケーキを発売しブランド認知の向上を図りました。「80kcal」シリーズでは、「大麦のクラッカー」を発売し、健康志向のニーズに応える品揃えを行いました。

豆菓子品目は、「味ごのみ」シリーズで夏向けのこくうまわさび風味を発売し、ご好評をいただいたことに加え、スナック品目、米菓品目などと合わせて、小容量タイプのマルチパックシリーズを発売し品揃えの強化を図りました。

チョコレート品目は、「アルフォートミニチョコレート」シリーズにおいて、お客様から要望の高かったリッチミルクを6年ぶりに発売するとともに、コンテンツタイアップの新たなプロモーションと、消費者キャンペーンを展開し、さらなるブランドの活性化に取り組みました。また、「ブランチュールミニチョコレート」シリーズでは安納芋や北海道ホワイトを、「もちもちショコラ」シリーズではモンブラン味を発売し、品揃えの強化を図りました。一方で、外出自粛の影響から、土産物品などの需要に影響が及びました。

ビスケット品目を中心に大袋商品、ロングセラー商品が順調に推移したことから、菓子全体では前年同期を上回りました。

飲料・食品・冷凍・その他の合計売上高は、2,210百万円（対前年同期比82.3%）となりました。

飲料品目は、ディズニー人気キャラクターをデザインした天然水を新たに発売しました。取り扱いの拡大により「牛乳でおいしくつめたいココア缶190」が好調に推移したものの、既存品の伸び悩みにより前年同期を下回りました。

食品品目は、「スローバー」シリーズに、黒ごまクッキーを発売し品揃えの強化を行いました。また、「プロテインキャラメルナッツクッキー（WG）」や、ルート限定で「プロテインチャージえんどうまめスナックレモン味（WG）」を発売し好評をいただきました。パーソナルユース商品群や粉末ココア商品が伸び悩んだものの、保存缶商品の需要が高まり、前年同期を上回りました。

冷凍品目は、「ルマンドアイスキャラメル」を発売したほか、「ルマンドアイス」のリニューアルを行いました。加えて、当社菓子商品のロングセラーブランドを活かした「お菓子アイス」の展開に継続して取り組みましたが、競争激化の影響により前年同期を下回りました。

その他では、通信販売事業は家庭内需要の増加に対応し、新製品を揃えた詰め合わせセットを展開するなど、お客様のニーズにお応えする取り組みを行いました。

自動販売機事業は、多様な商品を取り扱うプチモールの設置環境の選択による収益性向上と効率化に取り組み、設置台数の増加を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大による移動制限は、徐々に緩和されつつあるものの、従来の状態を取り戻すには至らず、販売は伸び悩みました。

酒類販売事業は、ナショナルブランド商品の取り扱いが拡大し好調に推移したものの、感染症拡大の影響により輸出商品が伸び悩んだことに加え、土産用受託商品の需要減少により前年同期を下回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53,085百万円(対前年同期比100.2%)、営業利益は723百万円(前年同期 営業損失49百万円)、経常利益は730百万円(前年同期 経常損失113百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は558百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失157百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は30,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,435百万円減少となりました。これは主に、現金及び預金ならびに受取手形及び売掛金の減少と商品及び製品の増加があったことによるものです。固定資産は43,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ950百万円増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得があったことによるものです。

この結果、総資産は74,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,485百万円減少となりました。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は19,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,916百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払費用ならびに未払金の減少があったことによるものです。固定負債は7,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少となりました。

この結果、負債合計は26,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,976百万円減少となりました。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は48,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ490百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は64.6%(前連結会計年度末61.1%)となりました。

### ・連結キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は10,356百万円となり、前連結会計年度末(13,260百万円)に比べ2,903百万円減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は699百万円(前年同期2,113百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益877百万円があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,171百万円(前年同期2,654百万円の支出、対前年同期比119.5%)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,395百万円があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は423百万円(前年同期537百万円の支出、対前年同期比78.7%)となりました。これは主に、リース債務の返済による支出133百万円および配当金の支払額288百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年4月28日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本日付けで「2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,141	10,246
受取手形及び売掛金	13,066	9,593
有価証券	118	127
商品及び製品	4,599	6,137
仕掛品	555	724
原材料及び貯蔵品	2,796	3,245
その他	744	510
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	35,018	30,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,365	16,033
機械装置及び運搬具（純額）	11,076	11,421
その他（純額）	9,624	9,433
有形固定資産合計	36,066	36,889
無形固定資産		
のれん	1,091	1,034
その他	397	382
無形固定資産合計	1,488	1,416
投資その他の資産		
その他	5,476	5,676
投資その他の資産合計	5,476	5,676
固定資産合計	43,031	43,981
資産合計	78,050	74,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,744	9,298
短期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	100	—
未払法人税等	944	533
賞与引当金	1,182	1,446
返品引当金	36	36
その他	10,046	7,823
流動負債合計	23,254	19,337
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	250	250
役員退職慰労引当金	237	236
退職給付に係る負債	5,731	5,621
負ののれん	16	15
その他	896	847
固定負債合計	7,131	7,071
負債合計	30,385	26,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	41,140	41,410
自己株式	△941	△941
株主資本合計	48,025	48,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	179
為替換算調整勘定	△314	△252
退職給付に係る調整累計額	△97	△67
その他の包括利益累計額合計	△360	△141
純資産合計	47,664	48,155
負債純資産合計	78,050	74,564



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	52,991	53,085
売上原価	32,137	31,111
売上総利益	20,854	21,974
販売費及び一般管理費	20,904	21,250
営業利益又は営業損失（△）	△49	723
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	33	32
助成金収入	22	54
負ののれん償却額	0	0
その他	40	47
営業外収益合計	100	137
営業外費用		
支払利息	4	2
減価償却費	9	10
為替差損	131	111
その他	17	6
営業外費用合計	163	130
経常利益又は経常損失（△）	△113	730
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	155
特別利益合計	0	155
特別損失		
固定資産処分損	54	2
減損損失	0	4
災害による損失	11	—
その他	0	1
特別損失合計	66	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△179	877
法人税、住民税及び事業税	99	439
法人税等調整額	△121	△121
法人税等合計	△22	318
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△157	558
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△157	558

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157	558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	128
為替換算調整勘定	73	61
退職給付に係る調整額	51	29
その他の包括利益合計	3	219
四半期包括利益	△153	778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153	778
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△179	877
減価償却費	2,059	2,128
のれん償却額	57	57
受取利息及び受取配当金	△36	△35
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	4	2
為替差損益（△は益）	92	96
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	△155
固定資産処分損益（△は益）	54	2
減損損失	0	4
投資有価証券評価損益（△は益）	—	1
売上債権の増減額（△は増加）	3,982	3,471
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,429	△2,160
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,565	△1,441
賞与引当金の増減額（△は減少）	276	264
その他	△2,608	△1,614
小計	△1,291	1,497
利息及び配当金の受取額	36	35
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△852	△829
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,113	699
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,392	△3,395
投資有価証券の取得による支出	△206	△34
投資有価証券の売却による収入	0	292
その他	△55	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,654	△3,171
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△150	△100
社債の発行による収入	—	99
社債の償還による支出	—	△100
リース債務の返済による支出	△123	△133
配当金の支払額	△264	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△537	△423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,338	△2,903
現金及び現金同等物の期首残高	18,015	13,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,676	10,356

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。